

入浴拒否課題 介護チェック表

現在、実施しているケアを確認しましょう。

記入者氏名 _____ 記入日 _____

高齢者氏名 (_____) ◆身体機能 (自立・やや機能低下) ◆認知症重症度(日常生活自立度判定基準)(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)

状況

〇〇さんは、入浴に誘うといつも入浴を嫌がり、何日もお風呂に入っていません。

要注意!! こんなケアしてませんか?

- 本人の拒否を意思の尊重と言って放っておいていませんか? ●認知症の方は自分の心身の状況をうまく説明できない方も少なくありません。「入りたくない」という言葉だけで判断するのはなく、心身の状況を把握するよう努めましょう。
- 強制的に声かけしたり、しかったり、どなったりしていませんか?
- いきなりお湯をかけたたり、身体を洗い始めるなど本人のやり方を無視して介助していませんか? ●介護者が入浴させたいあまり、強引に入浴させようとする事は得策ではありません。むしろ、無理やり入浴させられたという本人の不快感や自尊心を傷つけることにもなりかねません。その時は入浴できても、次の入浴はさらに難しくなることが考えられます。業務を優先して考えるのではなく、本人の気持ちを優先するよう気をつけましょう。
- 本人の意向を無視して強引に服を脱がせたり、入浴させようとしていませんか?
- 入浴させたいあまり不潔であるなど本人を傷つけるような声かけや誘導をしていませんか?

- ケア方針
- ◎本人の身体状況や疾病、健康状態に応じたケアに努めましょう。
 - ◎常に本人の気持ちや想いをくみ取り、本人の状態や心理を中心としたケアを行いましょう。
 - ◎本人が「お風呂のことだ」と理解できる入浴環境を整えましょう。

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
体調 ●現病・既往歴 ○バイタル ○本人の気持ち、意志 ○気分 ○認知機能	<input type="checkbox"/> 体調があまりよくない理解力や判断力が低下している <input type="checkbox"/> 本人の気分や気持ちが優れない <input type="checkbox"/> 不安や困惑した表情をしている	◇認知症を患うと、自分の体の異変を適切に伝えることが難しい方もいます。いつもと違う状態に気づけるよう観察を十分に行いましょう。 ◇体調や気分の影響を受け、不安や混乱が生じている場合もあります。本人が安心できるような声かけや態度で接することが必要と考えられます。 ◇「入浴拒否」には本人なりの思いや理由があると考えられています。単純に「拒否」という言葉で片付けるのではなく、その後ろに隠れている心身の状態を考えながら対応しましょう。	浴室の温度やお湯の温度を調整する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-2 拒否の理由を尋ねてみる。 <input type="checkbox"/> p.115-0-1 清潔でいることや温まることが体によいことを伝える。 <input type="checkbox"/> p.111-0-2 寒くないかなど入浴中のコミュニケーションを多くとる。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1 身体に変調がないか本人の状態を尋ねてから誘導する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-2 いつもの状態と変わりないか表情等を確認し誘導する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-2 本人の調子のよい時間帯に合わせて入浴する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-2
	<input type="checkbox"/> 下着が汚れている <input type="checkbox"/> そわそわと行動が落ち着かない <input type="checkbox"/> 不安や困惑した表情をしている <input type="checkbox"/> 羞恥心や怒りなどの感情が現れている <input type="checkbox"/> 便秘や下痢などの症状がある <input type="checkbox"/> 本人の恥ずかしさや混乱などの思いを汲んだ声かけができていない	◇失禁していることが要因として、人前で服を脱ぐのを嫌がる場合があります。排泄状況の確認や入浴の前にトイレへ誘導するなど、また汚れた下着を着替えるなど本人が羞恥心を感じないような対応に努めましょう。 ◇誰にでも羞恥心はあります。年をとればその恥ずかしさはなおさらではないでしょうか。本人の心理状態を考え、下着等の汚れを目にしたときにも、それとなくそっと片づけるなど本人の自尊心を尊重したかかわりを心がけましょう。	着替えを準備していることを伝え、ついでに入浴しようとして声かけする。 <input type="checkbox"/> p.111-0-2 受診や健康診断のために(Drに診てもらおう)という理由で誘ってみる。 <input type="checkbox"/> p.115-0-3 脱衣室に衝立を置くなど着替えが人に見えないように配慮する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-3 浴室に誰もいないことを伝え、一人で入浴できる状況を作る。 <input type="checkbox"/> p.109-0-2 入浴前にトイレ誘導、下着等の着替えをしてから声かけをする。 <input type="checkbox"/> p.115-0-2

身体状況

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
気分 ●本人の気持ち、意志 ○気分 ○スタッフとの関係 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○興味・関心	<input type="checkbox"/> 本人に困りごとや不安がある <input type="checkbox"/> 入浴の意味が本人に伝わっていない <input type="checkbox"/> 一連の動作でできない部分がある <input type="checkbox"/> 他の入居者との関係がよくない <input type="checkbox"/> スタッフとの関係がよくない <input type="checkbox"/> 羞恥心が強い	◇介護者が伝えつつも理解力や判断力の低下から、本人にはその意味が届いていないことがあります。一つひとつの動作を丁寧に、わかりやすい言葉で伝えましょう。 ◇見ず知らずの人の前で裸になることはできないことだと思います。スタッフや他の入居者との関係も大変重要なポイントではないでしょうか。顔なじみのスタッフや他の入居者と一緒であれば入浴に前向きになる可能性があります。 ◇入浴したくないという本人なりの理由、その思いや気分を耳を傾けましょう。	笑顔で相手のペースに合わせて声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1 気の合う利用者から声かけしてもらい、一緒に入浴できるように協力してもらう。 <input type="checkbox"/> p.109-0-1 面会時に合わせ家族から声かけてもらう(手伝ってもらう)。 <input type="checkbox"/> p.109-0-3 職員が交代せず同じスタッフが入浴に対応する。 <input type="checkbox"/> p.110-0-1 お風呂に入ってもらって自分たちが助かったことやお礼を述べる。 <input type="checkbox"/> p.107-0-5 一度断られてもしつこくならないよう、時間をおき繰り返し声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.112-0-4
	<input type="checkbox"/> 生活する場所として理解できていない <input type="checkbox"/> 浴室及び脱衣室が連想できない <input type="checkbox"/> 表情がよくない <input type="checkbox"/> 過去に入浴に関するエピソードがある <input type="checkbox"/> 本人の生活習慣と違う <input type="checkbox"/> 落ち着けない	◇今までの入浴環境とあまりにイメージが遠い場合、そこがどういう場所なのか入浴と結びつかないことが考えられます。設備等は仕方がないところですが、少しでも雰囲気や和らげる環境の工夫が必要です。 ◇気持ちがどうしても入浴に傾かない時には、気分転換を図る意味で本人の趣味や関心のある「ひと仕事」をすることも有効である場合があります。	今日温泉(銭湯)に行きましよう誘導する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1 自分の石鹸やシャンプーなどを用意し、入浴のイメージが膨らむよう対応する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1 温泉マークの暖簾などお風呂とわかるような環境を作る。 <input type="checkbox"/> p.113-0-1 入浴中のコミュニケーションを増やす。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1 好きな歌や音楽を流し、リラックスした状態が持てる環境にする。 <input type="checkbox"/> p.110-0-2 一仕事して汗を流してから入浴しよう伝える。 <input type="checkbox"/> p.110-0-3 本人の習慣になっている時間帯に入浴する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-1
認知機能 ●認知機能 ○気分 ○言語理解 ○スタッフとの関係 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 入浴の意味が伝わらない <input type="checkbox"/> 場所を見てもお風呂と認識できない <input type="checkbox"/> 嫌なことをされたという思いがある <input type="checkbox"/> 大きな声で指示している	◇言葉で伝わらないこともよくあることですが、例えばスタッフのしぐさや動作を交え、ゆっくりとかかわることが重要です。一度断られても時間をおいて繰り返し誘導するようにしましょう。 ◇言葉以外の、例えばタオルやせっけん、浴室など本人が入浴と連想しやすいものや場所を確認してもらいながら対応しましょう。	自分の石鹸やシャンプーなどを用意し、入浴のイメージが膨らむよう対応する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1 本人が理解しやすい表現(近くの温泉名や行水など)で伝えてみる。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1 入浴が楽しく感じられるような工夫をする。(入浴剤や入浴後の楽しみなど) <input type="checkbox"/> p.110-0-2 気分が変わらないよう、本人とコミュニケーションをとりながら対応する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1 浴室内へ誘導、お湯に触れてもらうなど本人が入浴と感覚・触覚など五感を活用し誘導する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1 一度断られても、しつこくならないよう時間をおき繰り返し声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.112-0-4

心理

認知機能

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
性格 ●性格 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○本人の気持ち、意志 ○気分 ○性別 ○認知機能	<input type="checkbox"/> 羞恥心が高い	◇浴室内は声や音が反響しやすい場所です。複数のスタッフや他の入居者がいる場合ざわついて落ち着けないこともあるでしょう。また複数のスタッフが一度に関わることで、情報が整理できず不安や混乱を招くことも考えられますので、かかわるスタッフはできるだけ少ない人数で行うことも大切な視点です。	お風呂に入ってもらって自分たちが助かったことのお礼を述べたり、労うなど声かけをする。 <input type="checkbox"/> p.107-0-5
	<input type="checkbox"/> 浴室・脱衣室が落ち着けない		本人の気持ちを聴きながら、ゆっくりと対応する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1
	<input type="checkbox"/> 周囲がざわざわしている		一つひとつ手順を説明し、本人が混乱しないよう対応する。 <input type="checkbox"/> p.107-0-4
	<input type="checkbox"/> 今までの生活習慣と違う		拒否の理由を尋ねてみる。 <input type="checkbox"/> p.115-0-1
	<input type="checkbox"/> 入浴の意味が伝わりにくい	◇入浴してもらいたいのは、むしろスタッフの方と考えることができるでしょう。本人にとっては、入浴しないからといってさしたる問題もないわけですから、そういう意味ではスタッフの仕事に協力していただいたことのお礼を述べることで入浴に対してのいい印象を与えることも考えられます。	一度断られても、しつこくならないよう時間をおき繰り返し声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.112-0-4
	<input type="checkbox"/> 過去に入浴に対する嫌な体験があった		本人のやり方(こだわり)を聞きながら、必要な(できない)部分を支援する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-3
<input type="checkbox"/> 人前で服が脱げない		スタッフが入れ替わることをしないよう少数のスタッフで対応する。 <input type="checkbox"/> p.114-0-2	

入浴習慣 ●入浴習慣(自宅) ○生活歴(幼少期から) ○過去の入浴体験 ○入浴のこだわり ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 入りたい時間に入浴できない	◇場所が変わったとしても長年の生活習慣は変えられるものではありません。スタッフの生活リズムではなく、本人の生活リズムで入浴できるように状況を整えることが必要でしょう。	本人の習慣に合わせた入浴時間に入浴できるようにする。 <input type="checkbox"/> p.108-0-1
	<input type="checkbox"/> 入浴の習慣が違う		裸になるところを人に見られない環境(カーテンや衝立)、時間で入浴する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-3
	<input type="checkbox"/> 入浴の意味が伝わらない	◇本人の入浴に関する生活習慣がどのようなものであったのか家族等に確認してみましょう。	一番風呂であると誘導する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-2
	<input type="checkbox"/> 人前で服が脱げない	◇羞恥心が大きく影響していることも要因としては考えられます。異性や大勢の人の前で裸になることは決してたやすいことではないでしょう。本人が恥ずかしさを感じることが少ない環境を作ることも重要な視点だと思います。	お湯の温度が本人の好みになるよう調整する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-2
	<input type="checkbox"/> 女性(あるいは男性)の後に入浴したくない		目・耳等にお湯等が入らないよう配慮する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-2
	<input type="checkbox"/> 銭湯などの経験がない		浴室が寒くないよう室温を保つよう配慮する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-4

入浴方法 ●湯温 ○浴室の温度 ○入浴のこだわり	<input type="checkbox"/> 湯温が本人の好みになっていない	◇湯温や室温は個人差があります。どのくらいで心地よいのか、本人に聞きながら入浴してもらええる配慮を心がけましょう。	お湯の温度が本人の好みになるよう調整する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-2
	<input type="checkbox"/> 浴室内が寒く感じる		本人の入浴のこだわりを教えてもらいながら対応する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-3
	<input type="checkbox"/> 女性(あるいは男性)の後に入浴したくない	◇入浴の方法は一人ひとり手順が違いますし、生活習慣も大きく影響します。家族等の情報を入手し、本人にも確認しながら入浴の対応をしましょう。	浴室が寒くないよう室温を保つよう配慮する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-4
	<input type="checkbox"/> 本人が望むときに入浴できない		いきなりお湯をかけるのではなく、本人に確認しながら足元からゆっくりとお湯をかける。 <input type="checkbox"/> p.107-0-6

入浴時間 ●入浴時間帯 ○気分 ○本人の気持ち、意志 ○スタッフの声かけ内容・見守り方	<input type="checkbox"/> 本人の好きな時間帯に入浴できない	◇必ずしも本人が望む時間帯に入浴できないことも少なくないと思います。繰り返し入浴の声かけや誘導を行い、本人が入っていただけやすい時間帯や状況を確認しましょう。	時間を決めずに、気分を見て入浴を促す。 <input type="checkbox"/> p.108-0-2
	<input type="checkbox"/> 本人の不安なことや心配なことがある		本人と相談し、混乱しないよう決った時間と曜日に入浴できるようにする。 <input type="checkbox"/> p.108-0-1
	<input type="checkbox"/> 職員の声かけの仕方がよくない	◇本人なりの理由が考えられますが、入浴させようと無理に勧めることで逆にイライラ感が高まります。趣味活動や本人の関心事に話を向けることで気分転換を図り、「ひと仕事」終えてから、誘導してみましょう。	入浴に対する不安感が和らぐよう、話を聞きながら誘導する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-3
			なるべく今までの本人の生活習慣に近い時間に入浴する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-1

入浴ペース ●入浴のこだわり ○入浴時間帯 ○本人の気持ち、意志 ○気分	<input type="checkbox"/> 自分のペースで入浴できない(ゆっくりと入浴できない)	◇入浴はリラックスする生活行為でもあります。周囲の人の動き、自分とは関係のない声や音などは雑音と感じて、本人の気分や心理に強く影響しますので、ゆっくりと落ち着ける環境づくりを心がけましょう。	本人のペースに合わせて、ゆっくりと湯に浸かれるよう見守る。 <input type="checkbox"/> p.108-0-3
	<input type="checkbox"/> せわしい感じがする		できるだけ自分でもできるよう、しつこ過ぎない声かけを心がける。 <input type="checkbox"/> p.106-0-3
	<input type="checkbox"/> 介助業務に集中し声かけられない	◇人によっては長風呂の人もありますし、短時間で入浴する人もいます。体調との関連もありますが、できるだけ本人が満足できる時間、湯船につかることができるよう見守りましょう。	なるべく本人の生活習慣に近い時間で入浴できるようにする。 <input type="checkbox"/> p.108-0-1
	<input type="checkbox"/> 大きな声で指示されたり、声かけや見守り方がよくない		一度断られても、しつこくならないよう時間をおき繰り返し声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.112-0-4
	<input type="checkbox"/> 不安や困った表情をしている		レクやトイレ誘導など、本人が自然に動く時間帯に合わせて入浴への誘導を促す。 <input type="checkbox"/> p.110-0-3
			本人のペースを聴きながら、ゆっくりと対応する。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1

			好きな音楽などを流し気分がリラックスできる環境をつくる。 <input type="checkbox"/> p.110-0-2
			入浴後に、気分が落ち着いたり、穏やかな気持ちになれるよう、飲み物、食べ物などを用意し、一緒に楽しむ。 <input type="checkbox"/> p.110-0-2

確認部位	アセスメントチェック <small>ここを確認しましたか?</small>	ケアの方向性	実際の取り組み例 (ガイドライン参照項目)
温度 ●浴室の温度 ○気分 ○スタッフの声かけ内容・見守り方 ○スタッフとの関係 ○湯温 ○着替えのストック ○本人の気持ち、意志	<input type="checkbox"/> 気分や表情がよくない	◇体が冷え切った状態の方もいるので、体温温度を考えながらシャワーの温度を調節するなど、直接皮膚にあたる湯温に気をつけましょう。	本人の表情を観察し、表情の良い時間帯に入浴する。 <input type="checkbox"/> p.108-0-2
	<input type="checkbox"/> 寒いと感じている	◇肌寒く感じることでイライラしたり、本人の心理状態に影響を与える場合がありますので、浴室や浴槽の適切な温度管理を行いましよう。	寒さ等を気遣い、本人に確認しながらコミュニケーションをとる。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1
	<input type="checkbox"/> 安心できない	◇認知機能の低下によって、適切に自分の希望や思いを伝えることが難しい場合もあるので、本人の表情や反応などを観察し対応しましょう。	いきなりお湯をかけるのではなく、本人に確認しながら足元からゆっくりとお湯をかける。 <input type="checkbox"/> p.107-0-6
	<input type="checkbox"/> 過去に入浴に関する嫌な体験がある	◇次にどうしていいかわからず、混乱や不安を感じることも少なくありません。本人が安心できるようなかわりを心がけましょう。	浴室内へ誘導、お湯に触れてもらうなど本人が入浴と感じ取れるよう視覚や聴覚、触覚など五感を活用し誘導する。 <input type="checkbox"/> p.111-0-1
			一つひとつ手順を説明し、本人が不安感をもつたり、混乱しないよう対応する。 <input type="checkbox"/> p.107-0-4
			お湯の温度が本人の好みになるよう調整する。 <input type="checkbox"/> p.113-0-2

人間関係 ●他の入居者との関係 ○気分 ○興味・関心 ○家族関係	<input type="checkbox"/> 他の入居者との関係がよくない	◇仲の良い他の入居者や顔なじみのスタッフは、本人にとって心強い仲間になり得ますので、人間関係にも配慮した誘導を行うよう心がけましょう。	仲の良い他の入居者に促してもらおう。 <input type="checkbox"/> p.109-0-1
	<input type="checkbox"/> 仲の良い人がいない	◇本人にとって大事だと思える人の話はよく聞くものです。本人にとってのキーパーソンとなる人を確認し、協力を仰ぐことも有効な方法の一つです。	仲の良い人と一緒に入浴できるよう順番や曜日进行调整する。 <input type="checkbox"/> p.109-0-1
	<input type="checkbox"/> スタッフとの関係がよくない		家族の面会時に入浴時間を合わせ、入浴を促してもらおう。 <input type="checkbox"/> p.109-0-3
			医師の指示で入浴してもらいたいことを伝える。 <input type="checkbox"/> p.115-0-3

スタッフとの関係 ●スタッフの声かけ内容・見守り方 ○スタッフとの関係	<input type="checkbox"/> 安心できない	◇今までと違う場所で、知らない人たちに囲まれて生活することは、非常にストレスの高い生活であると容易に想像できます。認知機能の低下により、混乱や不安感を生じさせているということを再確認しましょう。	笑顔でゆっくり、入居者のペースでコミュニケーションをとる。 <input type="checkbox"/> p.106-0-1
	<input type="checkbox"/> 羞恥心が強くある	◇普通にできていたことが、できない苦しさを抱えて生活しているということを理解し、本人が安心できる声かけや対応が必要です。	「ありがとうございます」とお礼や労いの言葉をかける。 <input type="checkbox"/> p.107-0-5
	<input type="checkbox"/> 人前で服が脱げない		一度断られても、しつこくならないよう時間をおき繰り返し声かけを行う。 <input type="checkbox"/> p.112-0-4
	<input type="checkbox"/> スタッフの声かけ、誘導の仕方が良くない		異性(あるいは同性)を嫌がるので、本人が嫌がらないよう配慮する。 <input type="checkbox"/> p.114-0-1

人間関係			入浴時だけでなく、普段からコミュニケーションをとる時間をつくる。 <input type="checkbox"/> p.114-0-2
-------------	--	--	---

現在の状態は
どうですか

○入浴を拒否する回数	○ケアをしたときの表情	○行動やしぐさの様子
拒否の回数 <u> </u> 回/日	笑顔がみられる… <input type="checkbox"/> 悲しそうである… <input type="checkbox"/>	そわそわしている… <input type="checkbox"/>
	穏やかである… <input type="checkbox"/> 苦しそうである… <input type="checkbox"/>	寝ている… <input type="checkbox"/>
	落ち着いている… <input type="checkbox"/> 怒っている… <input type="checkbox"/>	無関心である… <input type="checkbox"/>
	集中している… <input type="checkbox"/> 泣いている… <input type="checkbox"/>	同じ動作の繰り返し… <input type="checkbox"/>